

日本ゲノム微生物学会 2021年第1回評議員会 議事録

日 時： 2021年3月4日（木） 10：00～12：00

会 場： Zoomにて開催

出 席：

役員 黒川颯、大島拓、渡辺智、矢原耕史、森宙史、河野暢明、佐々木裕子、佐藤勉、
大坪嘉行、相馬亜希子

会計監査 阿部貴志、伊藤武彦

年会長 片山勉

次年会長 塩見大輔

評議員 林哲也、朝井計、跡見晴幸、飯田哲也、市川夏子、岩崎渉、大西康夫、
大林龍胆、神沼英里、島田友裕、永田裕二、布浦拓郎、野尻秀昭、本郷裕一、
南澤究

事務局 松田國博、齋藤英司

審議に先立ち、黒川会長より挨拶があり、評議員会の定足数を満たしていることを確認し、林議長の進行のもと審議が進められた。

第1号議案 2020年事業報告

議案書に従って2020年の会員数、会費納入率、各事業概要について、黒川会長および各担当より以下の通り、報告された。

- ・ 会員数の動向について
一般会員は若干の減少傾向であるが、2021年度からは新たに2団体（インフォコム株式会社、新学術領域「超地球生命体を解き明かすポストコッホ機能生態学」）が賛助会員となることが黒川会長より報告された。
- ・ 2020年年会について
新型コロナウイルスの影響で2020年年会の現地開催が中止となり、会場費の返金分や、会員、企業のご協力により約200万円の黒字となった経緯が黒川会長より報告された。
- ・ ニュースレターの発行について
佐藤ニュースレター編集幹事より、例年通り年間2号のニュースレターを発行し、12月発行のNo.22からは論文紹介のコーナーを設けたことが報告された。
- ・ 研究奨励賞、若手賞の選考について
黒川会長、片山選考委員より2021年度の奨励賞、若手賞の選考経過、結果について報告が行われた。
- ・ 若手の会の開催について

若手の会の世話人を務める河野集会幹事より、2020年の若手の会は新型コロナウイルスの影響で従来の合宿形式での開催ではなく、分子生物学会のフォーラムとして開催したことが報告された。

- 学会ホームページの活用について
学会ホームページについて、矢原広報幹事より、求人情報やシンポジウムの情報発信を行ったことが報告された。
- 男女共同参画について
男女共同参画について、相馬男女共同参画幹事より、2020年年会での託児サポートを計画していたが、年会の現地開催が中止となったため、サポートが行われなかったことが報告された。
- その他
事業報告として、評議員選挙報告を入れるべきではないかと林議長から指摘があった。2020年12月に開催された総会で新評議員の紹介がすでに行われていることから割愛した旨事務局より説明され、また3月5日の総会では評議員選挙の報告を行うことが黒川会長より説明された。

第2号議案 2020年学会収支決算

渡辺会計幹事、相馬前会計幹事及び学会事務局より、2020年の収支決算について、資料1に基づいて以下の報告が行われた。

- 一般会員年会費収入が予算を上回り、年会の黒字 200 万円を含めて大幅な増収となった。
- 第15回年会の援助金を前倒しで支出した。また例年100万円の援助金であるが、第14回年会に協力してくれた企業に対して、第15回年会抄録集への無料広告掲載のサービスを提供することとなっていたため、30万円を上乗せした130万円を支出した。
- その他3年に一度の評議員選挙が実施され選挙費用を支出したことを除いては、ほぼ例年通りの支出となった

また、阿部、伊藤両会計監査より適切に執行されていることを確認したとの報告があり、慎重に審議した結果、2020年度収支決算案は全会一致で承認された。

第3号議案 2021年事業計画

黒川会長より、議案書に従って2021年の事業計画の概要が説明され、また各担当より以下とおり説明された。

- ニュースレターの発行について
佐藤ニュースレター編集幹事より、例年通り年間2号のニュースレターを発行する予定であることが説明された。

- ・ 研究奨励賞、若手賞の選考について

池村委員長以下5名の選考委員については、3年間選考委員をお務めいただいたことから、今年度は委員を一新し選考を行う予定であることが黒川会長より説明された。
 - ・ 若手の会の開催について

若手の会の世話人を務める河野集会幹事より2021年の若手の会はオンラインでのセミナー形式開催を数回に分けて行う予定であり、1回目は第15回日本ゲノム微生物学会年会内にてウェビナー形式で行うことが説明された。
 - ・ 学会ホームページの活用について

これまで同様会員からの情報提供・依頼をもとに、シンポジウムや求人情報などの情報提供を行っていく方針であり、また、HPでの特典（バナー広告の掲載）などをアピールし、新規賛助会員の獲得に努める予定であることが、矢原広報幹事より報告された。
 - ・ 男女共同参画について

男女共同参画については、これまで通りの年会での託児サポートだけでなく、若手の会もサポートの対象としていくことが、相馬男女共同参画担当幹事より説明された。
 - ・ 第15回年会（2021年）について

第15回年会については、2021年3月4日（木）～6日（土）、オンラインで開催され、事前参加登録者も283名を数えていることが、片山年会長より説明された。
- 以上について慎重に審議を行い、2021年事業計画は全会一致で承認された。

第4号議案 2021年学会予算案

渡辺会計幹事より、2021年の収支予算案について、資料3に基づいて以下の説明が行われた。

- ・ 収入については、例年通りの収入を見込んでいる。
- ・ 支出については、「年会託児サポート費」としていた男女共同参画費を「託児サポート費等」として、幅広い男女共同参画事業に使用できるように改める。

以上について慎重に審議し、全会一致で承認された。

第5号議案 第17回年会（2023年）について

飯田哲也評議員が同時期に日本細菌学会の会長を務める予定であることから、第17回年会については飯田評議員を年会長として、日本細菌学会との合同開催としてはどうかと、黒川会長より提案があった。日本ゲノム微生物学会の活動や会員の幅を広げるという観点からの賛成意見と、細菌学会が基本的には医学系の学会であり、日本ゲノム微生物学会とは規模も雰囲気も異なるという点での反対意見があり、黒川会長、幹事、

飯田評議員を中心に引き続き検討していくこととなった。

報告事項

1. 第 14 回年会（2020 年・ウインクあいち→現地開催中止）収支報告
現地開催中止となった第 14 回年会について収支報告書が示され、黒川会長より報告された。

2. 第 15 回年会（2021 年・オンライン開催）報告
片山年会長より、第 15 回年会の開催状況について、事前参加登録が 283 名を数え、順調に進められていることが報告された。

会 期：2021 年 3 月 4 日（木）～3 月 6 日（土）
会 場：オンライン開催
口頭発表ライブ配信 2021 年 3 月 4 日（木）～3 月 6 日（土）
ポスター発表 2021 年 3 月 4 日（木）～3 月 18 日（木）
年会長：片山 勉（九州大学）

3. 第 16 回年会（2022 年・立教大学池袋キャンパス）準備報告
塩見次期年会長より、第 16 回年会については以下の概要での開催を検討していると報告があった。

会 期：2022 年 3 月 2 日（水）～3 月 4 日（金）
会 場：立教大学池袋キャンパス（〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1）
年会長：塩見 大輔（立教大学）

4. 会費未納会員への対応
未納会員について、資料 4 をもとに黒川会長から報告が行われた。長期未納による退会処分候補の会員について心当たりがあれば、ご本人に連絡をしていただくよう黒川会長から呼びかけられた。

5. その他
特になし。

以上